

■東京支部活動の報告

①「柑芦会ホームページ」リニューアルのお知らせ(本部事務局より)

柑芦会では、この度ホームページ(HP)をリニューアルいたしました。URLは下記のとおりです。

■ 柑芦会 新HP <https://dousokai.site/kourokai/>

内容的には、全国の各支部の連絡先情報、支部総会などのイベントの開催状況や、同好会・同期会の情報、住所等変更届け、新着情報などを掲載していきます。また、これまでは紙ベースが主体であった年報の「柑芦」誌や「柑芦ニュース」、「本部ニュース」などの広報物も、今後は順次デジタル化してこのHPに掲載するようにしていきます。さらには、フェイスブックの支部ページや同好会のグループもこのHPにリンクを張るなど、HPを柑芦会内のすべての広報物のハブ的な存在に育てていきたいと考えていますので、新規のリンク張りや改良などの要望がある場合はご遠慮なく事務局までご相談ください。

連絡先 藤井、浦。 honbu@kourokai.org

◆和歌山大学 ニュース

① わだい浪切サロン「マスターズスポーツ・プロモーションの期待と可能性」

第133回は、和歌山大学教育学部准教授 彦次 佳(ひこじ けい)先生を話題提供者に迎え、マスターズスポーツについてお話をうかがいます。「技を磨き競う」というスポーツの本質的な楽しさに挑戦すること、それ自体を楽しむマスターズスポーツ。世界中でマスターズスポーツ・ムーブメントが広がる中、ここ日本でも、ワールドマスターズゲームズが開催されることが決まっており、関西では大会開催に向けた準備が進められています。大会の延期も決まり、不安視する声も多い中、それではなぜ、マスターズスポーツをプロモートするのか、本会ではその意義や効果について共有し、このような状況下だからこそ、マスターズスポーツをプロモートする期待と可能性について語り合いたいと思います。

話題提供 | 彦次 佳(ひこじ けい)さん(和歌山大学教育学部准教授)

日 時 | 2022年1月19日(水)19時~20時30分

申込方法 | 下記URLまたQRコードのフォームから登録 <https://forms.gle/KjZHoRhYKb6gQSw68>

大学HP <https://www.wakayama-u.ac.jp/kii-plus/news/2021121100019/>

② オンラインセミナー「Social Entrepreneurs between Self-Determination and Structural Constraints: Examples from Tokushima and Miyagi Prefecture」

和歌山大学国際観光学研究センター(CTR)地域(Community)ユニットは、オンラインセミナー「Social Entrepreneurs between Self-Determination and Structural Constraints: Examples from Tokushima and Miyagi Prefecture」を開催いたします。

北海道大学大学院准教授であるクリーン・スザンネ氏をお迎えし、執筆した著書「Urban Migrants in Rural Japan: Between Agency and Anomie in a Post-growth Society」を基にご講演いただきます。日本では、地方に移住し起業する人が少なくない現在、彼らが起業するに至った動機や直面する課題、また新型コロナウイルスのパンデミックに伴う観光業の停止が彼らにどのような影響を与えたか等について、徳島県と宮城県を例にお話いただきます。

1/21(金)15時00分~オンライン開催(参加費は不要)。お申し込み方法は下記をご覧ください。

<https://www.wakayama-u.ac.jp/ctr/news/2021122300029/>

③ ワダイの防災ジオツアー」参加者募集

平成23年9月の台風12号によって、紀伊半島では大規模な斜面崩壊、土石流、洪水などが多数発生し、甚大な被害を受けました。今回の防災ジオツアーでは、「土砂災害地とジオサイトから防災を考えよう！」をテーマに、普段行く機会のない実際の災害現場とジオサイトを訪れ、研究者や専門家から現場で直接話を聞くことができます。田辺市伏菟野、上富田町、すさみ町を巡りながら、ふしぎな大地・歴史の楽しみ方と災害への備えについて、見て・触れて・聞き・学び・考えてみましょう。そして、決して災害だけではない、大地に育まれた大自然と文化に出会いませんか？

日時:1月22日(土)9:30～15:45／小雨決行

場所:伏菟野災害復興記念碑前 集合 → 伏菟野の崩壊地 見学 → ジオサイト「彦五郎堤防」見学 → 休憩:上富田文化会館(昼食各自持参) → ジオサイト「フェニックス褶曲」見学(現地解散)

詳しくはこちら <https://www.wakayama-u.ac.jp/news/2021122000035/>

④ 第12回香村賞ビジネスプラン審査会が開催されました

2021年12月17日(金)、第12回香村賞ビジネスプラン審査会が開催されました。

ビジネスアイデア部門19件、起業実践部門1件の応募があり、書類審査を通過したビジネスアイデア部門10件、起業実践部門1件について、最終審査会(プレゼンテーション会)が開催されました。

表彰の模様および各プラン受賞結果は以下をご覧ください。

<https://www.wakayama-u.ac.jp/cjr/news/2021122200015/>

※今回は、初めての試みとして、プレゼン時の司会進行役に2人の学生にご協力をいただきました。また、審査時間中の隙間の時間を利用して学生起業家および卒業生起業家をお招きしてのトークセッションおよび学生交流イベントを実施いたしました。

柑芦会本部 北村会長、浦事務局長をはじめご協力いただいた卒業生の皆様には、この場をお借りして感謝申し上げます。来年度も、学生、教職員、卒業生がさらに交流、連携できるように努めたいと思います。引き続きよろしくお願いたします。

和歌山大学 産学連携イノベーションセンター
アントレプレナーシップマネージャー
中川貴照(経済47期 東京支部)



謹賀新年

旧年中はひとかたならぬご厚情を
賜り誠に有難うございました
本年も何卒宜しくお願い申し上げます
皆様にとりまして幸多き一年となりますよう
心よりお祈り申し上げます

令和四年 元旦

令和四年の華開けとなりました。
芦火は今年第十四句集を刊行いたします。
皆様の御健康、ご多幸と御健吟を祈り
申し上げます。
芦火編集者 山下勝

【新年の俳句】

日輪は古びて廻り年新た

虚子

屠蘇酌むもわらじながらの年開けか

一茶

うっかりと元日の朝の長寝る哉

子規

正邪みな前向きすすむ元旦

草田男

正月のこころわかきはわれのみか

蛇笏

誰やらが形に似たり今朝の春

芭蕉



今月の表紙

注連飾り

芦火

柑 令和四年一月一日発行 一月号
蘆 同人誌

清記を終えて 2

695号

○純一さんの散歩道の自然。今月は秋の花木。金木犀、銀木犀いずれも季節を感じさせる香り豊かな花である。シマトネリコ、クサギはみたことあるように思うが名前が知らなかった。自然は自分なりにじっくり生きていることを人間に示してくる。時々はつとずる思い。

○今月は新しい年の高得点者。得点争いは2点差に6名が絡めく状況でした。今年も皆さんの競い合いで芦火は盛り上がる期待が大きくなったと思います。としをさんが顔を出してきたのも期待通りでした。スタートは恵吾さんとお二人で宗匠を務めていただきます。

○コロナは新しい局面を迎えているようだ。水際の対応が今のところ成功していて、オミクロン感染は少ない。しかし感染力が従来に比べ高いので予断は許さない。今のところ重症者、死亡者が少ないという情報が救いである。このまま正月を迎え、飲み薬が出て来て、通常のインフルエンザ並になつてくれればと切に祈る気持ちである。景気も心配な世の中である。

○臨時国会が始まり与野党の攻防が従来と変わってきたように見えて嬉しい。反対ばかりの野党に終止符を打ち、国民に政策の差を際立たせてほしい。十万円支給は野党の勝である。首相も最後は寄り切られる形で妥協した。この勢いで野党も国民を味方にする政策を続けて欲しい。それには普段の政策研究が欠かせないはずだ。

○世界は民主主義と専制主義・権威主義の戦いの様相が出てきた。民主主義サミットをしなければ、中国、ロシアの動きを止められない様相である。オリンピック政治ポイコットなどにきな臭い年明けとなったようだ。

◎本月高得点者

15点 としを、恵吾 14点 純一 13点 草炎、安男、温州
 12点 勝 11点 六甲、穂心 10点 恭行、碧亥 要

◎本月高得点句

8点 置いてあるだけの石臼そろ寒 としを
 7点 秋焼の藍の深さを新酒酌む 純一
 7点 働ける奉寿勤勞感謝の日 安男
 5点 信濃路や地に満目の蕎麦の花 恵吾
 5点 なつかしやほのと明るき夜学の灯 草炎
 5点 山門の石につまづく小六月 恭行
 5点 冬ぬくし稀書に出会ひし古書の市 安男

惜しい！4点句 月光に六甲、ひらひらと草炎、この国のみきを
 彼岸花 としを 独り身は要 牡蛎舟や穂心

次号宗匠「切捨て御免」担当としを、恵吾のお二人

兼題 注連飾 年縄、牛蒡注連、七五三縄、注連縄の「しめ」は占有の意。神の占有される区域を示す縄。神界と人界との境界を明らかにする縄である。全て左揃いにこしらえ、七本・五本・三本という順位に藁の切り上げを垂らす。通例白紙を細く切った幣を添えて用いる。注連に飾りの語を添えて新年の季語とする。神棚をはじめ藁・井戸・玄關をはじめ臼・杵、自転車等に至るまで、年縄をかけて迎えるのが日本の正月である。

- 注連縄の選しき籠男の子産め 鷹羽狩行 ・注連かけて恥づることなく庵せり 阿波野青歌
- 奥飛騨や金扇つけし飾 阿部洞然 ・犬の身も洗って仮居の注連飾る 山科杜美子
- 溶鉢炉注連飾りして真赤なり 富安風生 ・仰ぎ見る大注連飾り出雲さび 杉田久女
- 浜小屋に小舟おさまり注連飾る 加藤憲曠 ・鯛船の輪飾めがけ波しぶく 金森早雪

創刊、昭和38年、600号以上を発行。会員約20名が毎月投句、選句。上手下手を問わず俳句を楽しんでいます。紙と鉛筆と歳時記で、花鳥風月を楽しんでみてはいかがですか？
 発行人：山下勝様 経済学部 14期 yama723@nifty.com
 「芦火」連絡先：〒862-0954 熊本市中央区神水 1-7-2-301 TEL : 096-382-4767

◆和歌山関連 ニュース

① 地産地消と高野山麓精進野菜～高野山の食文化に学ぶSDGs～

【シンポジウムのお知らせ】
 2月11日（金・祝）午後2時から橋本市民会館大ホールで開催される大阪・関西万博連携シンポジウム「地産地消と高野山麓精進野菜～高野山の食文化に学ぶSDGs～」に和歌山大学食農総合研究教育センター長の藤田教授が出席し、ポスト・コロナ社会におけるローカルフードシステムの意義と題して基調講演を行います。
 ※入場は無料ですが、チケットが必要とのこと。ご関心のある方はぜひご参加ください。
 【チケット配布場所】1月31日まで
 高野山麓農産物産地化協議会事務局(橋本市役所 経済推進部農林振興課内)
 ▼ 詳細はこちら
<https://www.city.hashimoto.lg.jp/.../1516847220119.html>

② 『ローカルファーストが未来をつくる』を開催

このシンポジウムをきっかけに、教育に携わる人、子育て中のパパママさん、事業所を営む方、皆んなで地域の事を考え一緒に良くしていこう、子どもの地域学習にも地域皆んなで関わっていただけると考えてます。

第1部 『有功東小学校の取組』『教育から広がるバイローカル』

第2部 『和歌山大学 足立基浩副学長のローカルファーストが未来をつくる』

足立先生インタビュー(※動画です)

<https://www.facebook.com/WAKAYAMA.YEG/videos/619147255960396>

日程:1月22日(土)13:20受付 14:00開演

場所:和歌山城ホール 大ホール

お申し込みはこちら!

<https://docs.google.com/.../1FAIpQLSehzIEK6a.../viewform>

③ 企画展示 ニホンオオカミと頭骨にまつわる最近の話題(県立自然博物館)

このたび、自然博物館では和歌山大学教育学部より寄託を受けて保管しているニホンオオカミCanis lupus hodophilaxの剥製を、期間限定で展示します。また、今回は特別に奈良県大淀町よりニホンオオカミの頭骨(実物)と岸田日出男 著「日本狼物語」を借用し展示します。

- ・場所:自然博物館 第2展示室 話題のコーナー
- ・期間:令和4年1月4日(火)～令和4年1月30日(日)

ニホンオオカミは、1905年に奈良県東吉野村鷲家口で捕獲された(現在は大英博物館に毛皮と頭骨が保管されている)個体を最後に記録がなく、絶滅したと考えられます。ニホンオオカミの剥製は、国内に3体(当館・国立科学博物館・東京大学農学部)、海外に1体(オランダ国立生物多様性センターナチュラリス)の合計4体のみ現存しており、大変貴重です。

※詳しくはこちら

<http://wave.pref.wakayama.lg.jp/news/kensei/shiryo.php?sid=34618&fbclid=IwAR1UHAb4DSBvuqZrFqaPKutP7DIAhLBZQWLjp2R8n8hHmXAdemmiU05Ieh4>

④ワールドマスターズゲームズが和歌山で開催されます

ワールドマスターズゲームズは、国際マスターズゲームズ協会(IMGA)が4年ごとに主宰する、概ね30歳以上のスポーツ愛好者であれば誰もが参加できる生涯スポーツの国際総合競技大会です。アジアで初めて日本で開催される事が決定し、和歌山市を含む関西一円が記念すべき第10回大会の舞台となります。

※詳しくはこちら <https://www.wmg2021.jp/games/venues.html>

文・編 47 期 中川貴照

柑芦会東京支部フェイスブック <https://www.facebook.com/groups/325065827574556/>

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 7-17-14 新宿シティ源ビル 5F 柑芦会

東京支部柑芦会専用電話:03-3366-3680 平日 9:00～18:00

土曜日:9:00～15:00

共用 FAX:03-3369-3469 柑芦会東京支部宛と記載下さい。e-mail: tokyo@kourokai.org